

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-262535(P2003-262535A)
 【公開日】平成15年9月19日(2003.9.19)
 【出願番号】特願2002-374718(P2002-374718)
 【国際特許分類第7版】

G 0 1 C 21/00
 G 0 6 F 17/60
 G 0 8 G 1/13
 G 0 9 B 29/00
 G 0 9 B 29/10

【F I】

G 0 1 C 21/00 Z
 G 0 6 F 17/60 1 2 6 U
 G 0 6 F 17/60 5 0 6
 G 0 8 G 1/13
 G 0 9 B 29/00 A
 G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月6日(2005.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

利用者に関する介護結果を入力する入力手段と、
 利用者を特定する情報を記憶する利用者特定情報ファイルと、
 前記介護結果のうち、健康状態に関連する情報と前記入力手段から入力された健康状態に関するデータが正常か否かを判断するための判定基準を記憶する健康状態関連情報ファイルと、

この健康状態関連情報ファイルに記憶された判定基準に基づき、前記入力手段から入力された健康状態に関するデータが正常値か否かを判断する健康状態判定手段とを備えた福祉支援システム。

【請求項2】

利用者を特定する情報を記憶する利用者特定情報ファイルと、
 少なくとも利用者の居住地に基づき割り当てた地区コードを記憶する利用者住居関連情報ファイルと、

少なくとも利用者の介護レベルを記憶する介護レベル関連ファイルと、
 前記利用者住居関連情報ファイルの地区コードと前記介護レベル関連ファイルに記憶された利用者の介護レベルに基づき、地区毎の各介護レベルの利用者の分布を求める利用者分布演算手段と、

この利用者演算手段で求められた分布の割合に基づき、各地区に割り当てる訪問者数を決定する訪問者割当て手段とを備えた福祉支援システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0013】

本発明はこのような事情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、訪問者が所有する訪問者装置からの介護内容の入力に基づき介護レベルを判定、更新することにより、利用者に対する適性な介護サービスを提供できる福祉支援システムを提供することである。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0016】

また、別の目的は、利用者の健康状態の判定を利用者自身の過去の状態との比較により判定することにより、より正確な健康状態管理を行うことができる福祉支援システムを提供することである。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0017】

さらに、別の目的は、訪問者の配置を利用者の介護レベルも考慮して決定することにより、訪問者の負荷低減および利用者に対する十分な介護サービスを提供できる福祉支援システムを提供することである。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0018
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0023
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0024
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0026
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0027
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0028
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正18】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0029
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正19】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0030
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正20】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0031
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正21】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0032
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正22】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正23】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正24】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0035
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正25】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解消するために、本発明の福祉支援システムにおいては、利用者に関する介護結果を入力する入力手段と、利用者を特定する情報を記憶する利用者特定情報ファイルと、介護結果のうち、健康状態に関連する情報と入力手段から入力された健康状態に関するデータが正常か否かを判断するための判定基準を記憶する健康状態関連情報ファイルと、この健康状態関連情報ファイルに記憶された判定基準に基づき、入力手段から入力された健康状態に関するデータが正常値か否かを判断する健康状態判定手段とを備えている。

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

さらに、別の発明の福祉支援システムは、利用者を特定する情報を記憶する利用者特定情報ファイルと、少なくとも利用者の居住地に基づき割り当てた地区コードを記憶する利用者住居関連情報ファイルと、少なくとも利用者の介護レベルを記憶する介護レベル関連ファイルと、利用者住居関連情報ファイルの地区コードと前記介護レベル関連ファイルに記憶された利用者の介護レベルに基づき、地区毎の各介護レベルの利用者の分布を求める利用者分布演算手段と、この利用者演算手段で求められた分布の割合に基づき、各地区に割り当てる訪問者数を決定する訪問者割当て手段とを備えている。

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

このように構成された各発明の福祉支援システムにおいては、それぞれ、介護レベルの自動更新、健康状態の自動判定、訪問者割当て自動決定が実施される。よって、該当利用者に対する訪問看護を行う訪問者は事前にその最新の事情を把握できるので、より一層きめ細かい介護サービスを提供できる。

【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0109

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0109】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の福祉支援システムにおいては、この福祉支援システムの利用者に対してより一層いき届いた介護サービスを提供でき、かつ少ない訪問者を効率的に活用できる。

【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0110

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】